

山口次世代コーチーズ講習会

日時：10月13日（土）11:00～17:00

会場：やまぐちサッカー交流広場

参加者：県内指導者15名

講師：データスタジアム株式会社

久永 啓 氏



次世代を担う山口県サッカー指導者を対象に、サッカーにおけるトップレベルの情報を共有し、指導者としての研鑽の場、レベルアップの機会を提供することを目的に開催しました。

本年度は、最先端のゲーム分析を学ぶとともに、JFA 公認 B 級ライセンスとして指導者の経験もある講師から育成現場でのデータ収集の方法と活用方法について学びました。

ワークショップ I（講義）11:00～12:00

- ・客観的指標に基づくデータ収集の大切さ
- ・最先端のデータ収集方法と活用方法
- ・データに基づく指導手法など

経験に基づく指導、プラス、客観的指標に基づくデータを選手に示すことにより、より説得力のあるコーチングへと繋がるのが大切であり、選手たちは、日常生活からスマートフォンやタブレットなどを活用して莫大な情報やデータに接しているため、コーチも同様に適切なデータの選択と選手への提供する能力が求められていることを認識しました。

ワークショップ II（ゲーム分析）13:00～15:00

- ・高円宮杯全日本 U-15 選手権県決勝大会から客観的指標によるゲーム分析の実践



3～4人のグループにより、対戦チームごとに担当を決め、それぞれが定めた客観的指標に基づきゲーム分析を行いました。

初めて体験する手法に戸惑いもありましたが、ゲーム分析方法の仕組みを学ぶことが出来たことは大きな収穫でした。

分析作業は、紙と鉛筆を用いて行うもので、控えの選手などによるデータ収集も可能であるので、自チームでも活用できると参考になりました。

ワークショップⅢ（グループワーク） 15:00～17:00

・ゲーム分析のまとめ

グループでゲーム観戦による分析結果を取りまとめる中で、客観的指標の定め方や分析結果の使い方などを学びました。課題解決のために、どのようなデータが必要なのか、そのデータを用いてどのように選手に伝えるかなど、今後継続してスキルアップしていく必要性を感じました。



参加者の声

- ・今までにない。
- ・新たに知ることが多く、より知りたいと思うことが出来た。
- ・他の指導者とディスカッションでき楽しめた。
- ・ゲーム分析、データの取り方がよくわかった。
- ・実際の GAME を見ながら実体験できた。サッカーの見方が深まった。
- ・サッカーの視点が分析という面から考えることができ自分のサッカー観を高める必要性を感じました。
- ・データ活用のおもしろさを感じる事が出来た。
- ・データ分析の入門的講習で良かった。

今後に向けて（分析力向上＝指導力向上）

多くの育成指導者は、『M（週末のGAME）－T（平日のトレーニング）－M（週末のGAME）』により、選手やチームの課題改善に取り組まれています。

週に2～5回程度のトレーニング環境は、各チームの事情から異なることと思いますが、「トレーニングプランの作成（プランニング）」→「ピッチでの指導（トレーニング）」には日夜奮闘されていることと思います。

そのため、より高いレベルで週末のGAMEを「分析」することは、適切な「プランニング」とより質の高い「トレーニング」へつなげるため、大変重要な作業であると感じています。

講義の最後には講師から「**理詰めで勝てるほど、サッカーは単純ではない**」しかしながら「**データを使えないと、これからのチームは伸びていかない。口でイメージだけを言う、そんな時代ではないと思う。**」という現役Jリーグ監督の話を紹介していただいた時には、これからの指導者のあり方について、あらためて考えさせられました。

初めての企画でしたが、参加者からも大変好評をいただき、次回以降の継続を期待する声も多数いただきました。

技術委員会では、これからも指導者のスキルアップのための研修機会を準備いたします。

ご参加お待ちしております。

（報告者：山口 FA チーフインストラクター 岡村幹純）